

横浜市戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業

とつかトータルデザイン



「とつかトータルデザイン」とは・・・

市街地再開発事業により整備する道路や交通広場などの公共施設と再開発ビルを基に、戸塚駅西口で賑わいのある便利で快適な街づくりを進めていくために、**デザイン** **環境** **情報**の3つのテーマを「とつかトータルデザイン」として、総合的な取組を推進しています。

とつかトータルデザインのこれまでの取組

とつかトータルデザイン

デザイン

現代の都市デザインを基本としつつも、戸塚の地域性や歴史性に基づくデザイントーンの創出や、まちの持続的な発展につながる仕組みづくり

環境

緑化や環境負荷の低減など環境に配慮した施設設計と良好な環境を維持していく地域活動の仕組みによる地球環境に配慮した質の高い都市環境づくり

情報

電車・バスなどの交通情報や防災・店舗等の情報を、誰もが利用しやすい媒体で情報提供を行い、利便性と回遊性を高めるシステムづくり

市民意見募集・アンケート

「とつかトータルデザイン」の取組は、これまで、アンケートなどで市民の皆様のご意見を伺いながら進めてまいりました。ここでは、いただいたご意見のなかから主なものをご紹介します。

戸塚駅周辺整備デザインの考え方(素案)

への市民意見(平成19年11月実施)

【戸塚らしさ(活かすべき要素)上位]

桜/商店街の雰囲気/柏尾川/宿場町の歴史

【まちづくりのテーマ]

にぎわい/うるおい/ゆとり

【自由意見における主な意見(デザインに関して)】

- 他の駅前とは違う特徴あるデザインにしてほしい
- 戸塚の歴史や昔の面影を残すデザインにしてほしい
- すっきりと洗練された、統一感のあるデザインにしてほしい
- 緑や花を多くしてほしい、一休みできるベンチや緑が多い憩いの場をつくってほしい
- 車いすやベビーカーが使いやすい、段差のない整備をしてほしい
- 天気(雨・風)を気にせず歩けるようにしてほしい

都市情報システムで提供してほしい情報

へのアンケート(平成20年2月実施)

戸塚駅でバス・タクシーに乗り換える場合、自宅から駅周辺に向う場合などの状況を想定し、交通情報・商業情報・公共情報など提供してほしい情報について、区民・駅利用者等にアンケート調査しました。

【交通情報】

- 先発電車・バスの乗場、発車時刻が知りたい
- 鉄道・バスの運行情報が知りたい
- 目的地までの鉄道・バスでの行き方が知りたい

【公共情報】

- 災害時の緊急情報が知りたい
- 駅周辺の主要施設案内を見たい
- 区・市役所からのお知らせを見たい

【商業情報】

- 共同ビルの店舗案内を見たい

委員会を設けて検討を進めてきました

戸塚駅周辺整備事業デザイン委員会

平成19年8月、有識者による「戸塚駅周辺整備事業デザイン委員会」を設置し、駅周辺のさらなる魅力アップに向けた取組を進めてきました。

【委員(敬称略)】

都市計画	高見澤 邦郎
土木	佐々木 葉
建築	佐々木 龍郎
都市緑化	井口 義也
照明デザイン	面出 薫
都市デザイン	国吉 直行



都市情報システム検討委員会

平成20年1月、学識経験者や交通事業者から助言及び提言をいただくため「都市情報システム検討委員会」を設置し、検討を進めてきました。

【委員(敬称略)】

都市交通計画	中村 文彦
交通工学	古谷 知之
人間工学	福田 亮子
神奈川中央交通(株)	
東日本旅客鉄道(株)横浜支社	
横浜市交通局	



まちづくりのテーマとデザインコンセプト

1日約27万人の乗降客が利用するターミナルとして、戸塚に暮らす人々、戸塚を訪れる人々にとって、やさしさにあふれ、四季を通じて居心地が良く、戸塚の記憶と都市の情景が融合した新しい戸塚の都市イメージを創出するために、戸塚の歴史・緑・水などを活かし、多様なニーズに応える都市機能の集積による魅力をつくり、「通りみち」から「集えるまち」となることを目指し、「まちづくりのテーマ」と「地区全体デザインコンセプト」を以下のとおり設定しています。

まちづくりのテーマ	
<p>うるおい</p> <p>柏尾川や周辺の自然環境と調和した緑化や、省エネルギー対策、環境負荷の低減など、利用者がうるおいを感じられること</p> <p>緑・緑化／環境の取り組み</p>	<p>ゆとり</p> <p>多様な世代が快適に利用できるユニバーサルデザイン（利用しやすさ・わかりやすさ）により、ゆとりを感じられること</p> <p>バリアフリー／サイン等</p>
<p>にぎわい</p> <p>個性的な商業空間の形成、回遊性の創出、時のうつろいを楽しむことができる照明デザインなど、利用者がにぎわいを感じられること</p> <p>界隈性／ネットワーク／照明</p>	<p>はぐくみ</p> <p>使いやすさ、維持管理のしやすさなども視野に入れた施設整備、まちを育てていく地域組織づくりなど、利用者も一緒にはぐくんでいくこと</p> <p>維持管理／段階的整備</p>

← 戸塚駅周辺整備デザインの考え方（素案）への市民意見（平成19年11月実施）

地区全体デザインコンセプト



■ 「戸塚オリジナルモダン」の目指すところ

- ▶ 安全性、快適性などを踏まえた現代の都市デザインを基本としつつも
- ▶ 戸塚の地域性や歴史性に基づく新たなデザイントーンの創出や、まちの持続的な発展につながる仕組みづくり等も踏まえた、オリジナリティの高いデザインを目指す

地域性： みどり／みず／みち／しるべ
桜並木、丘陵地の緑、柏尾川など地域の自然との関係、旧東海道や周辺市街地などとの地域連携、にぎわいのある街並みの形成など地域の中心性を示すデザイン

歴史性： いろ／かたち／灯り／肌理（きめ）
戸塚宿であった歴史や、市民に親しまれた商店街の界隈性のある街並みを踏まえ、いろ、かたち、灯りなどの歴史的建築の要素を現代的に表現するデザイン

新規性： 透明感・軽快感／安心感／清潔感
現代都市に必要な性能である快適性、安全性など備え、周辺の街並みとも調和でき、今後の開発やまちづくりのモデルとなるような魅力的なデザイン

持続性： 環境との共生／維持管理／市民・企業との協働
環境との共生、施設の維持管理、市民・企業との協働などの仕組みも配慮した、まちの持続的発展に貢献できるデザイン

デザイン

● 全体デザイン

「戸塚オリジナルモダン」の考え方のもと、居心地の良い街並みを形成する地区全体のデザインに取り組んでいます。

特に、図に示す5つの場所で重点的にデザインを進めています。

戸塚の新たなイメージを形成する 居心地の良い街並み

- ◎ 公共施設と建築物が一体的にデザインされた街並み
- ◎ 戸塚の歴史性、地域性を継承した街並み
- ◎ 交通ターミナルとしての利便性に配慮された街並み
- ◎ 周辺市街地との連続性に配慮した街並み

これらのイメージ図は、今後の計画により変更になることがあります。



全体完成イメージ
戸塚郵便局側から駅方面を望む



③「街道の辻」イメージ（第1交通広場）
戸塚郵便局側から駅方面を望む



②「中央プロムナード」イメージ（3階）
第1交通広場方面から駅側を望む



④「柏尾川の辻」イメージ
駅から柏尾川方面を望む



①「駅前デッキ」イメージ
橋上コンコース側から共同ビル方面を望む

● 分野別デザイン

次の6つの分野で、「戸塚オリジナルモダン」の考え方に基づくデザインを進めています。

(1) みちと広場（回遊性の創出を促す流れと溜まり）

- ・交通結節点としてのスムーズな動線と地区の記憶を継承するみち空間が結び合う溜まり空間を演出する。

(2) みどり（憩うみどり、むすぶみどり）

- ・辻、デッキなどへ、まとまったみどりや効果的なみどりの創出により、都市のなかのやすらぎを演出する。
- ・ひとの目線に沿った戦略的な緑化により、歩きながら楽しめるみどりを配置する。

(3) あかり（照明）（いやしの光、もてなしの光）

- ・照明によって、景観の連続性、時のうつろいや経過をデザインし、家路に向かう人々への安らぎ、ショッピングの華やぎ、散策の愉しさ、四季折々のうつろいなどを表現していく。
- ・明るさ優先の照明計画とせず、多様な明るさの空間づくり、落ち着いた照明とする。

(4) 色彩（戸塚いろで街を愉しむ）

- ・江戸時代に使用された「四十八茶百鼠」の色合いを活用した「戸塚いろ」の設定に取り組む。
- ・「戸塚いろ」の利用を効果的に展開し、色を活用して街を愉しむ仕掛けづくりに取り組む。

(5) サイン・広告（街を楽しく演出するサイン・広告）

- ・わかりやすさとともに、デザインコンセプトと調和した、サインの配置、表示の工夫等を行う。
- ・駅前商業地の個性も現す要素として、デザインコンセプトを踏まえ、広告の掲出の工夫を行う。

(6) 環境（循環型社会への貢献）

- ・自然エネルギーの活用による省資源化、リサイクル材の利用など、環境負荷軽減策を積極的に取り入れる。



⑤「大踏切の辻」イメージ
駅東側から共同ビル方面を望む

環境

● 環境への取組の考え方

地球環境に配慮した質の高い都市環境を目指した環境への取組を実践していくために「戸塚駅西口再開発における環境への取組基本計画」を策定し、事業を進めています。

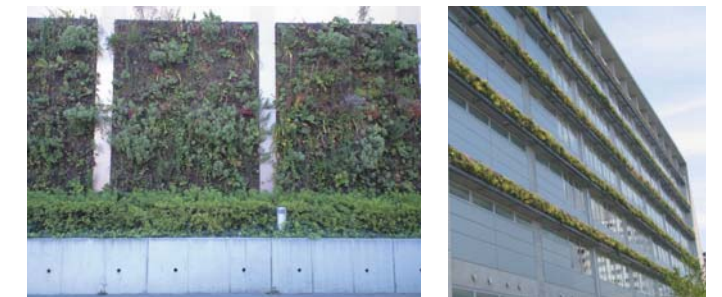
環境への取組基本計画（H20.6策定）抜粋

- ① 場所や規模に応じた緑化を図り、やすらぎと潤いのある空間を創出する。
- ② 再開発ビルや公共施設の設計に環境への配慮を取り入れる。
- ③ 地域の人々と協働で緑を育てていく地域活動の仕組みづくりを行う。
- ④ 温暖化対策に関する社会実験に取り組み、環境への取組の普及活動に努める。

● 緑化の主な取組

- ・共同ビルの駅側正面及び駐車場スロープの壁面緑化
- ・駅前などのデッキや三つの辻（街道・大踏切・柏尾川）などを中心とした緑化

壁面緑化の例

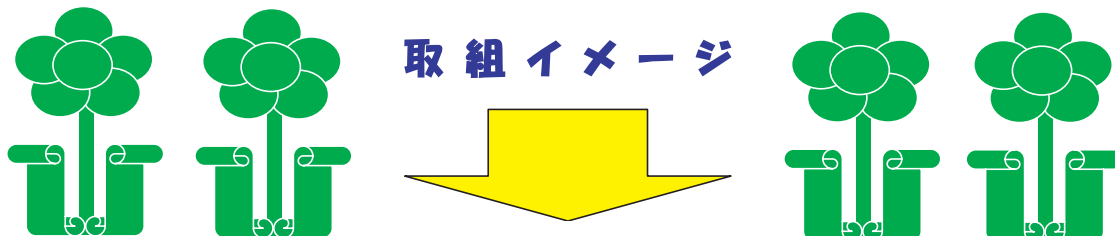


● 環境への配慮を取り入れた設計

例えば、大規模商業施設である共同ビルでは、トイレなどの雑用水として1日約350tが必要です。設計を検討する中で、雑用水については環境負荷の低い水資源の利用を検討しています。

● 地域活動・社会実験への取組

再開発エリアにおいて、環境に関するイベントの開催や社会実験などに取り組み、地域活動として市民・駅利用者や商業者の方、また、地域貢献として企業や諸団体の方が、まちそだての視点から環境への取組に参加できる仕組みづくりを推進していきます。



再開発エリア

【地域活動】
市民・駅利用者
商業者
〔協働の考え〕

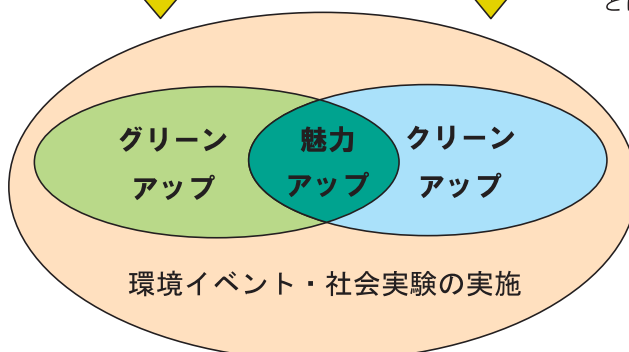
「まちそだて」の
視点

【社会貢献】
企業
諸団体
〔CSRの場の提供〕

※CSR(Corporate Social Responsibility)
とは企業の社会的責任の意味です。



ボランティアによる植栽事例



戸塚駅東口の清掃活動事例

行政のバックアップ



地域活動風景



ヒートアイランド対策の効果測定事例



キャンドルナイトなどのイベント

平成 22 年春から環境に関する地域活動・社会実験がスタートできるよう、地域の方や専門家の方からご意見をお聞きするなど様々な準備を進めています。

●コンセプト

戸塚駅の利用状況や再開発事業の施設計画を踏まえ、都市情報提供システムを次のコンセプトで整備することを検討しています。

戸塚駅の利用状況

- ・鉄道乗降客数が約27万人（市内第2位）
- ・東西合わせたバス路線数が49系統（首都圏最大級）

再開発事業の施設計画

- ・分散型交通処理計画（2か所の交通広場）
- ・分棟型のビル計画（大小12棟の商業ビルと公益ビル棟）

①交通情報、災害時の緊急情報を提供するシステム

②便利で魅力ある環境を提供するシステム

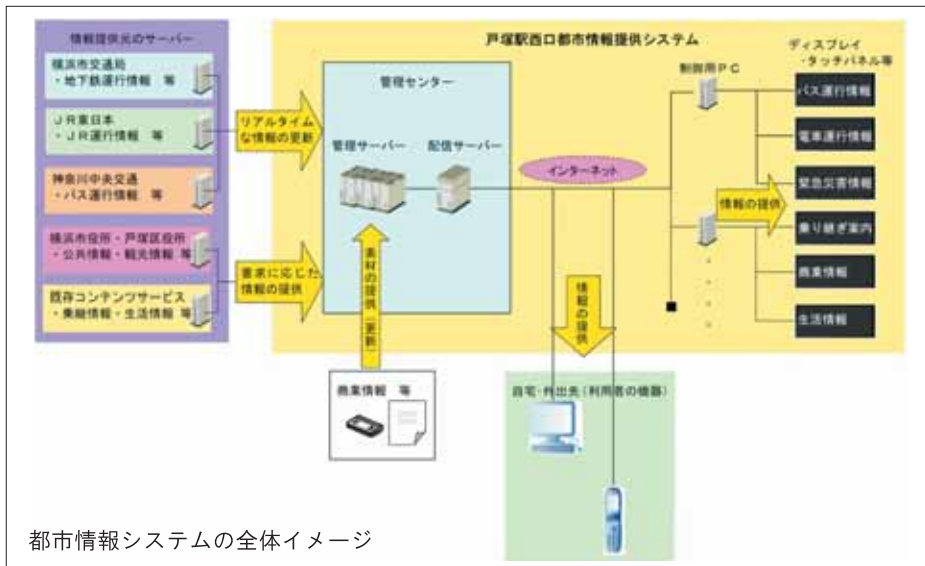
③誰もが利用可能なシステム(ユニバーサルデザイン)

④運営等の費用負荷が少ないシステム

⑤拡張性の高いフレキシブルなシステム

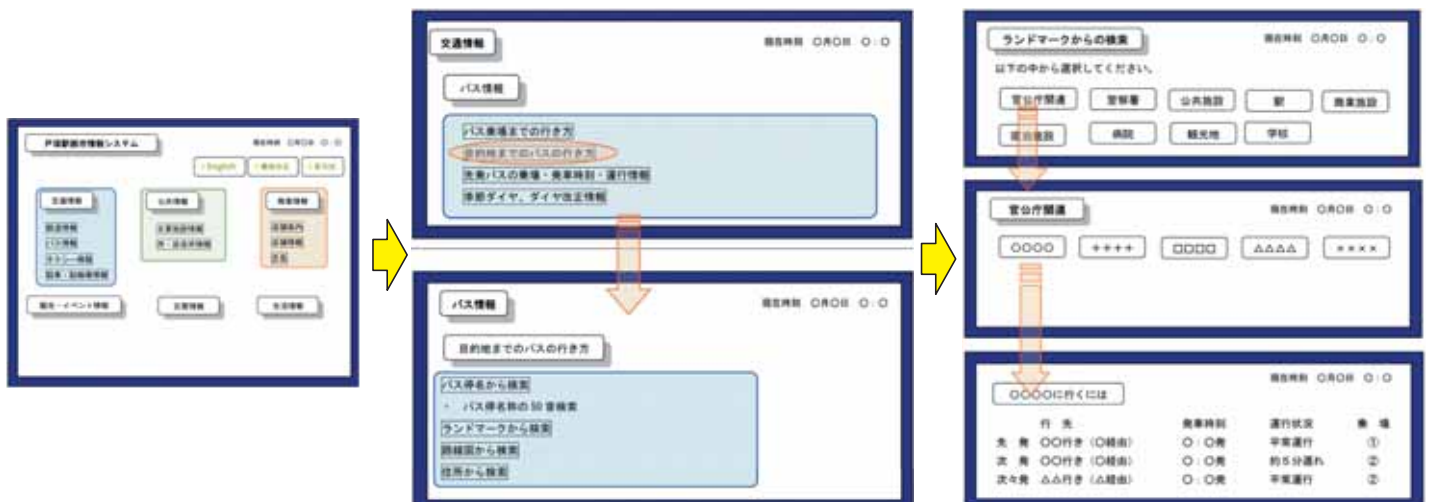
●情報提供とシステムのイメージ

道路などの公共空間をはじめとして、駅施設内やビル内通路(中央プロムナードなど)にも設置し、利用者に連続的に情報を提供することで、スムーズに移動できる歩行者動線の確保を目指します。



タッチパネルのイメージ
（台東区ホームページより）

都市情報システムの全体イメージ



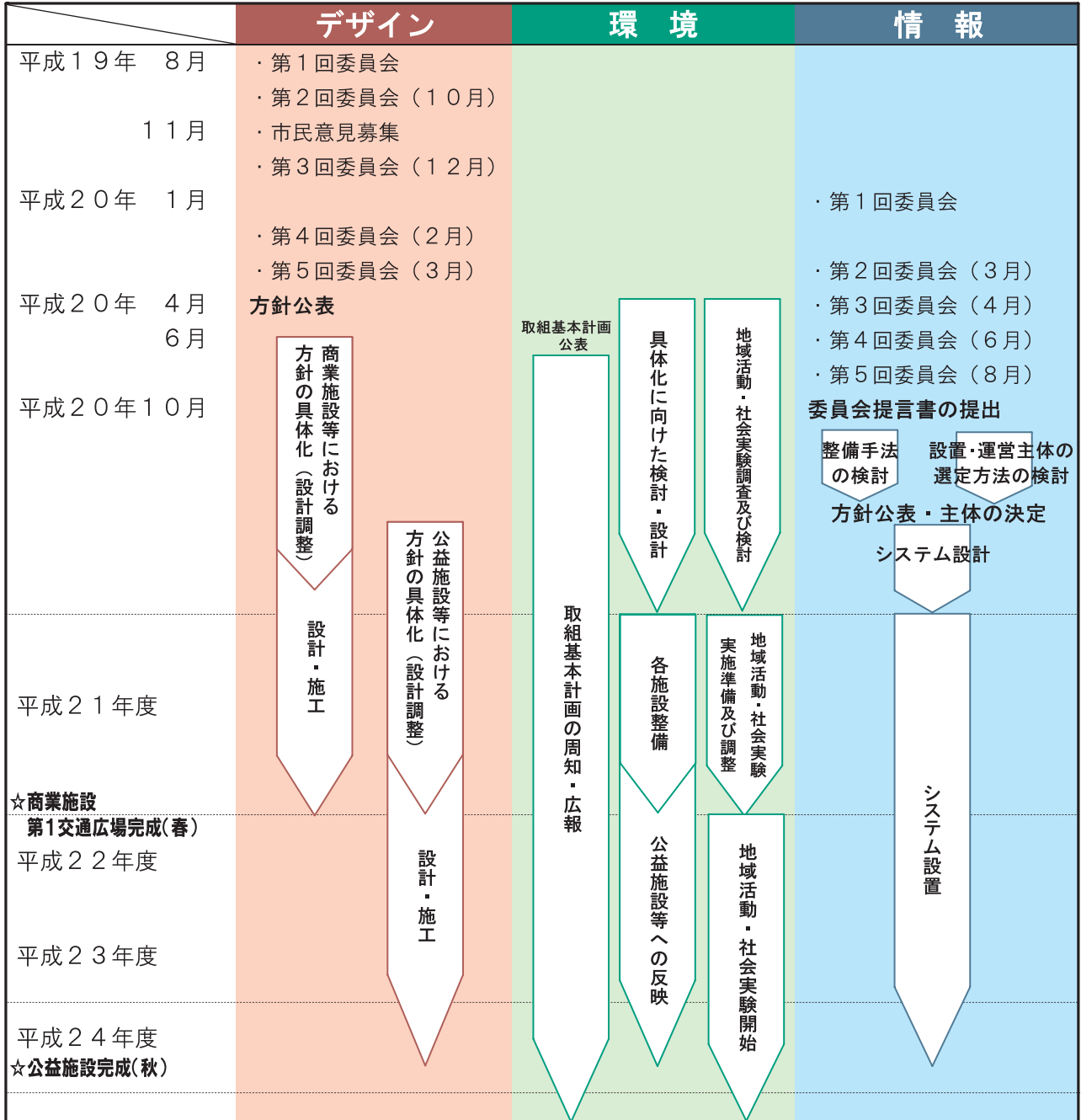
情報提供画面の展開イメージ（バス情報検索の例）



●設置・運営の基本的な考え方

設置は国の支援制度が活用しやすい**公設**、運営は利用者ニーズへのフレキシブルな対応が期待できる**民営**を基本とし、維持管理に民間活力を活かした仕組みを取り入れ、持続可能な都市情報提供システムの構築を目指し、戸塚駅西口が便利で魅力ある環境となるよう検討を進めます。

今後の予定と進め方

- **デザイン**については、方針の具体化を進め、これを踏まえながら平成22年春の商業施設及び第1交通広場完成を目指して設計・施工を進めています。
- **環境**については、緑化や環境負荷低減など具体化に向けた検討・設計を進め、各施設整備へつなげていきます。また、平成22年度からの地域活動や社会実験の実施を目指し、準備を進めています。
- **情報**については、平成22年度からのシステム運用を目指し、設置・運営主体の選定方法やシステムの整備手法について検討しています。



 <p>あちこちドキドキハマのまち 都市整備局</p>	<p>横浜市都市整備局戸塚駅周辺再開発事務所 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町1-3番地 ラピス戸塚3 5階 TEL: 045-864-2621 FAX: 045-864-2623 メールアドレス: tb-totsukaiken@city.yokohama.jp アドレス: http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/totsusai/index.html</p>	 <p>2009 横濱開港150周年 Co-Do 30 2009年度に商業誘致力アップ率を30%向上!</p>
--	---	--